

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
ハイセイコー記念	2018/11/14	SII	大井	1600m	スローペース	良	距離延長組の取捨

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	シビックヴァーゴ	牡2	55	笹川	ハゴ	ナスルーラ系	ジャングルポケット	ナスルーラ系	B	B	B	C	B	B	△1	
2	2	ハナスボンダイ	牡2	55	達城	ドリームジャーニー	サンデー系	スニツツェル	ノーザン系	D	C	B	B	C	C		
3	3	フォルベルス	牡2	55	早田	サウスヴィグラス	ミスプロ系	アサティス	ノーザン系	C	C	C	C	C	C		
4	4	グラビテーション	牡2	55	今野	ベルシャザール	ミスプロ系	エンドスウィープ	サンデー系	A	C	B	C	B	B	◎	
	5	マムティキング	牡2	55	柏木	バトルブラン	ミスプロ系	デュランダル	ミスプロ系	D	C	B	B	C	B	△3	
5	6	トーセンイマジン	牡2	55	坂井	アイルハヴアナザー	ミスプロ系	アドマイヤコジーン	ナスルーラ系	D	C	D	D	D	D		
	7	チューダ	牡2	55	御神本	サウスヴィグラス	ミスプロ系	ジャングルポケット	ナスルーラ系	D	A	B	C	B	C	△2	
6	8	ラプラス	牡2	55	矢野	カジノドライブ	ナスルーラ系	サンデーサイレンス	サンデー系	B	B	B	C	B	B	▲	
	9	トーセンズブモーニ	牡2	55	左海	トーセンライト	ロベルト系	アドマイヤベガ	サンデー系	D	B	C	C	C	C		
7	10	ホクトローリー	牡2	55	松崎	トゥザグローリー	ミスプロ系	ダイワメジャー	サンデー系	D	D	D	D	D	D		
	11	ダルヴァザ	牡2	55	真島	ベルシャザール	ロベルト系	Saint Ballado	ヘイロー系	D	B	B	B	C	B	×1	
8	12	トーセンボルガ	牡2	55	森	トーセンモナーク	サンデー系	Mineshaft	ナスルーラ系	B	A	B	A	A	B	○	
	13	ネオプリランテ	牡2	55	的場	ディーブプリランテ	サンデー系	クロフネ	ノーザン系	D	C	B	C	C	C		

隊列図	見解	ラップタイム
トーボ マムテ ダルヴ ハナズ ネオブ グラビ フォル トース チュー シビッ ホクト ラブラ トーイ	<p>ハイセイコー記念は毎年、「距離延長組をどう扱うか」と「右回り未経験の他地区からの遠征馬をどう扱うか」が大きなポイント。一般的には大井1400m(もしくは1200m)→1600mの延長組よりも右回り未経験の他地区からの遠征馬の方が割引かれる傾向にあるが、実際は大井1400m→1600mに対応する方が圧倒的に難しい。ご存知の通り、大井1400mはコーナー2回の外回りに対し、大井1600mはコーナー4回の内回りコース。1400mと1600mは全くの別物と捉えていい。(中略)今年ゴールドジュニアで1、2着に好走したシビックヴァーゴ、ラプラスが人気を集めそうだが、2頭ともに1400m以下の実績のみ。そもそも過去5年でゴールドジュニアを経由してハイセイコー記念で3着以内に好走したのは、14年3着ヴェスヴィオしかない(15年には単勝1倍台のラクテが飛んでいる)。ハイセイコー記念の傾向を重視するならシビックヴァーゴ、ラプラス以外から入るのが筋だろう。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命は強敵相手に揉まれたグラビテーション。前走鎌倉記念は平和賞の記事でも書いた通り、超ハイレベルレース。(以下省略)</p>	回顧 次走狙い馬

スローペース

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	シビックヴァーゴ	△1	ラプラスと能力互角も内枠で乗り難しい分、評価を下げた。ゴールドジュニアは外枠でスタート五分に出れたが、そのほかのレースではすべて出遅れており、今回は最内枠なら出遅れる可能性が高そう。		
2	2	ハナズボンダイ		近2走は低レベルなオープン特別で3、2着。今回は重賞で相手がグツと強化されるので、さすがに馬券圏内の好走は難しいだろう。		
3	3	フォルベルス		きょうだいにスズカリバー、ジャーニーマンらが入る血統。本馬も素質はありそうだが、3走前のゴールドジュニアでは6着に完敗しており、現時点では重賞だと能力不足だろう。1600mも長いのでは。		
4	4	グラビテーション	◎	前走鎌倉記念は平和賞の記事でも書いた通り、超ハイレベルレース。大きく離れた3着の本馬でさえ水準の年なら勝ち負けしている時計で、上位2頭が強過ぎただけだろう。4着ヒカリオーソは次走平和賞を制し、5着リンノレジェンドは北海道2歳優駿で6着に健闘。掲示板に入った馬のレベルは相当高い。		
	5	マムティキング	△3	前走とき特別が強いの一言。1200m→1600mの距離延長は割引が必要だが、人気がないなら押さえておく価値はあるか。		
5	6	トーセンイマジン		高野調教師は「ジャイアントキリングを起こしたい」と意気込んでいるが、JRAでは低レベルな未勝利の4着が最高着順。前日の2歳90万円以下のレースに出走して通用するかどうかのレベルなのでは。		
	7	チューダ	△2	持ち時計をさらに詰める必要があるものの、1600mを2回走っているのは強み。サウスヴィグラス産駒らしくレースセンスが高く、どんな競馬でもできるタイプ。上位人気勢は強さと脆さが同居しており、能力的にやや劣る本馬でも上位勢の凡走があれば、相対的に着順を上げてきそう。		
6	8	ラプラス	▲	前走ゴールドジュニアではシビックヴァーゴに敗れたものの、スタートの出遅れが致命的だった感じ。出遅れ率100%なので、今回も出遅れ前提で考えたほうがいいが、中間のゲート練習ではスタート五分に出ており、ゲートが改善されている可能性は少しありそう。		
	9	トーセンブモーニ		前走ゴールドジュニアではシビックヴァーゴ、ラプラスに完敗といえる3着。鞍上強化は魅力だが、大幅な上積みがない限り、2頭と着順が入れ替わることはない。		
7	10	ホクトローリー		2走前のカナリア特別では2着に好走したが、勝ち馬オーシャンブラック（前走ゴールドジュニアではシビックヴァーゴ、ラプラスらに完敗）から0.9秒も離されていた。重賞で通用するレベルではない。		
	11	ダルヴァザ	×1	平和賞のカシノフォンテン（2番人気7着）を見ても1戦1勝での重賞挑戦は常識的に厳しいが、ほかの馬は全く出番がなさそうなので、未知の魅力がある本馬を最後に押さえておきたい。		
8	12	トーセンボルガ	○	デビュー以来、【4.1.0.0】とまだ底を見せていない馬。3走前に完勝したカネトシテッキンは鎌倉記念で6着に健闘。本馬が鎌倉記念に出走していれば、掲示板には入れただろう。メンバーを見渡す限り、逃げ、先行勢が手薄なので、前に行ける本馬は展開に恵まれるのではないか。		
	13	ネオブリランテ		前走はくたか特別では先に抜け出したハナズボンダイを交わせずの3着。そのハナズボンダイはここに入ると明らかに格下。本馬もよほどの上積みがない限り、このメンバーでは通用しないのでは。		